

平成 30 年度交通まちづくり創生事業計画について

1 趣旨

公共交通の活性化により黒部市の発展に寄与するため、国の地方創生交付金を活用して、東京大学、YKK及び交通事業者等との産学官協働による先進的な取り組みを引き続き実施する。また、来年度は、今年度の調査・検討を受けて、公共交通網の具体的な見直しを検討するとともに、モビリティハブの充実により、市街地の回遊性を高めることで公共交通利用の動機付けを図り、官民共同運行のさらなる改善と実効性のある利用促進策を展開する。

2 経費（地方創生加速化交付金実施計画による）

< 4 年間 : H28~H31 >

総事業費 113,000 千円

< 平成 28 年度 >

事業費 50,000 千円（地方創生加速化交付金 10/10 : 50,000 千円）※H27 の繰越事業

< 平成 29 年度 >

事業費 18,000 千円（地方創生推進交付金 5/10 : 9,000 千円）

< 平成 30 年度 >

事業費 23,000 千円（地方創生推進交付金 5/10 : 11,500 千円）

3 事業内容

①次世代型交通システムの導入に向けた実証実験【8,000 千円】

平成 28 年度に実施した実証実験の結果検証に基づき、今年度は、システムの改善方法等の整理、アンケートを通じた実証実験のニーズや実験候補地域の絞込み等を行っており、これらを基に、より利便性の高い、次世代型交通システムの導入に向けた実証実験を実施

②官民共同運行【3,000 千円】

南北循環線の成功路線化を目指し、諸課題の解決に向け、引き続き最適なルート・ダイヤ設定及び運行方法の調査・検討を実施

③モビリティハブの増設等【10,000 千円】

モビリティハブの設置及び維持管理（9,000 千円）、公共用自転車の増車及び維持管理（1,000 千円）

④モビリティマネジメント・ブランディング【2,000 千円】

幅広い年齢層を対象としたモビリティマネジメント教育の実施（1,000 千円）、公共交通利用促進に関するニュースレターの制作等（1,000 千円）